

# 愛媛県四国中央市「地場産業の現状と課題」

- 紙の町・四国中央市は、全国1位の製造品出荷額を誇る「パルプ・紙・紙加工品製造業」が主要産業である。
- 一方、人口減少率は、周辺3市と比較しても高く、将来の人材不足による産業活力の低下が懸念されている。
- 国内有数の紙関連産業の集積地域であるが、「若い世代が地域企業に魅力を感じていない」等の調査結果も出ているため、地場産業を分析し、働く場所としての魅力を向上させる施策について意見交換を実施した。

## 実施概要

日時：平成30年3月2日（金）

会場：四国中央市役所

福社会館3階会議室2

テーマ：「地場産業の現状と課題」

参加者：21名（市職員、商工会議所職員等）

有識者：岡山大学 教授 中村 良平氏

使用したRESASのデータ：

全産業の構造、稼ぐ力分析、製造業の比較 等  
その他利用データ：

四国中央市「事業所意識調査報告」「高校生進路希望状況調査」

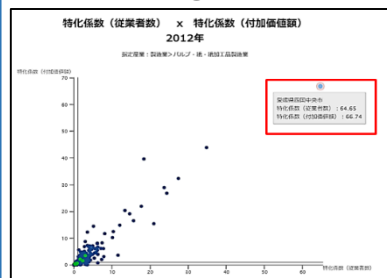
「結婚・出産・子育てに関する市民アンケート調査」



政策立案ワークショップ／意見交換の様子

## 現状分析：中小企業の労働生産性に課題、産業の強みと働く魅力の不一致

- 主要産業である「パルプ・紙・紙加工品製造業」は、製造業に占める売上高等の割合が高いだけでなく、稼ぐ力や地域経済への波及効果も高い。
- しかし、中小・小規模企業においては、類似地域と比べ、売上増加率は高いものの、労働生産性が低いことが課題として確認された。
- 市のアンケートより、①地域企業は人材確保②若い世代は地域に魅力を感じない③労働環境は女性が働く環境整備が不十分であるとの課題が出た。



紙産業の付加価値額と従業員数の特化係数ともに全国1位と高く、シェアだけではなく雇用でも地域に貢献、稼ぐ力の高さが窺える。

図14 会社ごとの職場では、子どもを養育する従業員が、出産・子育て支援の制度を利用できるか？  
（複数回答）

「妊娠・出産のための特別休暇（不妊治療休暇、妊娠中の休暇など）が最も多く、「復職制度」が2.3%、「上司からの育児休暇取得のすすめ」が10.1%となっている。

制度名	件数	%
妊娠・出産のための特別休暇（不妊治療休暇、妊娠中の休暇など）	179	34.8
復職制度	115	22.3
上司からの育児休暇取得のすすめ	52	10.1
育児休業制度	42	8.1
社内の託児・出張経験のある人との交流の場	13	2.5
復帰のための研修	6	1.2
在宅ワークなど多様な働き方の推進	4	0.8
ベビーシッター、家事支援サービス等	2	0.4
その他	20	3.9

産休・育休、復職制度の利用率は低く、女性の働きやすい環境とはいえ、企業の配慮が不十分であることが窺える。

## 施策提案：地場産業の魅力の発信と若者のUIターン促進に向けて

- 地域企業の域外への流出防止と新たな企業誘致、地域未来投資促進法の活用による生産性の向上等、地域企業への支援を進める。
- 企業合同説明会や企業研究フェアなどの取組に加え、地域の若年層をはじめとする市民参加型の「まちづくりワークショップ」を実施し、市民の意見を反映したまちの魅力向上の施策や課題解決を図っていく。